

第2回福祉用具 専門相談員研究大会 来年6月に開催へ

で。演題登録料は無料。
問い合わせは日福協0
3・6721・5222。

小野木大会長「福祉用具の利用根拠と効果伝えたい」



小野木大会長

福祉用具専門相談員の
自己研鑽や福祉用具活用
の効果発信する機会と
して、今年度初めて開催
された「福祉用具専門相
談員研究大会」。第2回
目の大会が2020年6
月16日に開催することが
決まり、今月3日、大会
長を務める小野木孝二日
本福祉用具供給協会理事
長が「根拠ある福祉用具
の選定事例を数多く発表
できることを期待してい
る。多くの人に参加して

ほしい」と抱負を語った。
研究大会は、2018
年度の報酬改定で福祉用
具レンタル事業所に必置
となっている専門相談員
に選定の説明義務が課せ
られたことなどを背景
に、福祉用具の効果のエ
ビデンス確立を目指して
始まった。実行委員会形
式で、全国福祉用具専門
相談員協会と日本福祉用
具供給協会が共催。

第2回の開催に向け、
小野木大会長は「必要な
用具が必要なタイミング
で利用者に提供されてい
るか。アセスメントやモ
ニタリングがきちんと行
われているかが相談員の
専門性の根拠」と言い、

今回は新たに経験3年未
満の相談員の「チャレン
ジ発表」という枠を設け、
人材育成の面からも示唆
を得られる発表を増やし
ていきたいと話した。口
述発表12組、ポスター発
表14組程度を募集する。
発表事例の申し込みは
2020年1月31日ま

シルバー新報

2019年（令和元年）12月6日7面